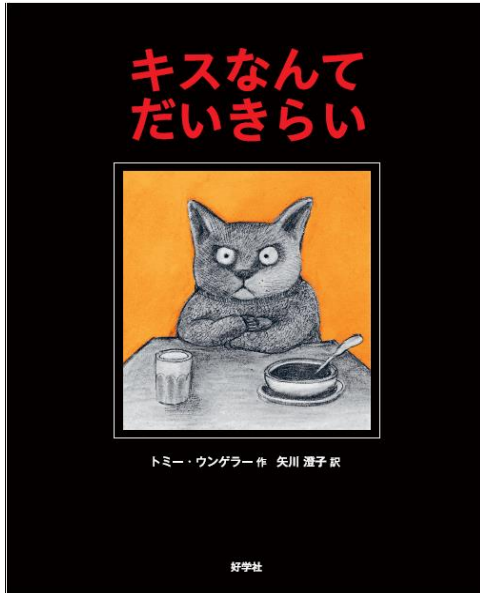


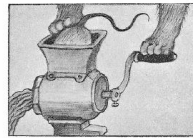
キスなんて だいきらい

トミー・ウンゲラー 作
矢川 澄子 訳
B5変型・40ページ

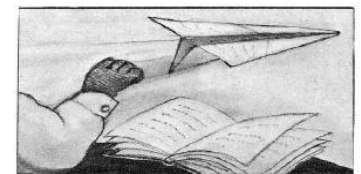
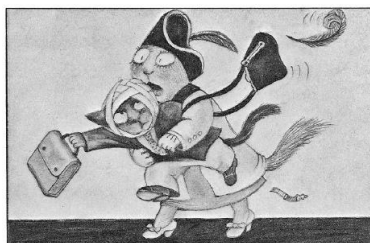
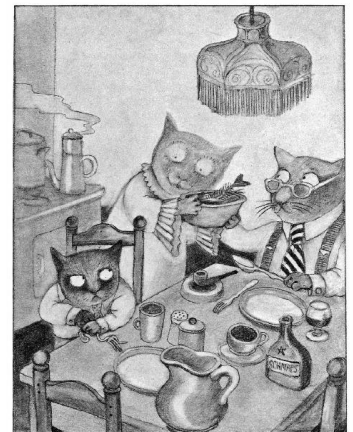
2023年2月発売予定



パイパーはいつまでも小さい子どものように接してくる母さんにうんざりする日々を過ごしていました。ある日、学校で友だちとけんかしてケガをしたパイパーを見た母さんは…。主人公は猫ですが、思春期・反抗期の男の子の心情と成長をウンゲラーらしい視点で描いたロングセラー作品を復刊いたします。



「ごはんよ、ほうや。」日どめか 日どめの かあさんの 声。
 どうさんは もう せきについで。こいつは まずいや。
 「はやく きて おすわり、ほうや。
 この つぶしネズミを おあがり、ほうや。
 ほら ニシンの ほねも ヒワの フライもあってよ。
 あなたの ために つくったのよ、ほうや。」
 パイパーは びしゃりと いった。
 「ほうや、ほうやって いうなよ、たべるきが しくなっちゃまう。
 ついでに いうと パイちゃんでも ごめんだ。
 ほうやだったし パイちゃんだったししたら、
 やきゅうの チームにも 入れて もらえやしない。
 それから ママちゃん、いっくけどね、
 パイちゃんなんてケーキ どこにも ないよ。
 おかしゃの おじさんに たしかめて みんだ。
 あおひと ケーキづくりの めいじん だから。
 やっぱり ほくの おもったとおり、
 パイちゃんなんてケーキ あるもんかってさ」



※本書は1974年文化出版局刊行の「キスなんてだいきらい」を一部修正したものです。

番線・貴店名

キスなんてだいきらい

トミー・ウンゲラー 作 矢川澄子 訳



ご担当者名

978-4-7690-2275-6

定価（本体 1,700円+税）

冊